

正誤表

『信楽焼の製造技術 民俗文化財調査報告書』に、次の通り誤りがありましたので、謹んで訂正いたします。

誤	正
頁 行・資料番号 箇所	⇒ 箇所
例言3頁目 14	川上孝章
2 7	東南部
2 13	南は多羅尾村を経由し御斎峠を越えて南山城の大河原へ出る。
10 19	信楽
13 16	(ルビ) したはくさん
18 32	質堅いもの
20 15	これは
29 24	吹き出して、
29 25	ゴム管の
62 16	手親指
65	(写真72キャブ) 柄コテ
71	(写真95キャブ) ■
75 11	生じる、
75 24	講和
76 1	次頁
76 2	名称はない、
79 16	下記の通り
79 23	下記の通り
81 31	下表
82 16	石灰石・土灰マグネサイト
82 24	飴釉乳濁釉
86 16	おこない。
93 18	箇所
93 25	紐づくり
95 23	整形
97 29	それらを
107 28	大阪が
110 34	一生懸命になてんねや
110 35	焼にくい窯
113 5	表5
113 16	表6
130 25	14日～16日
134 13	時計回り
134 25	時計回り
150 0CZ001	(重複して掲載)
153 0CZ023	紙巻き部5.5
155 0CZ056	L 22.8
181 KKG019	14.7
185 008	L 6.3～10.5
210 00-032	呉須(染付)
210 00-034	呉須(染付)
210 00-035	呉須(染付)
210 00-037	呉須(染付)
214 00-291	月日鈎窯釉(紅色釉)
218 00-026	練習用。手取り重し。戦時下の代用品。
223 06-57e	小皿1
227 08-02	(六角印9
232 09-03	銅釉
232 09-03	重ね掛け